

京都教区時報

Home Page <http://web.kyoto-inet.or.jp/org/catholic/>

2・3頁 よりよき宣教共同体となるために(5)

3・4頁 京都教区の取り組みの評価(1)

発行 京都司教区
責任者 村上透磨
京都市中京区河原町
三条上ル
カトリック会館
編集用 FAX
077-527-6800
(滝野)

点訳版「京都教区時報」(無料)
ご希望の方は点訳ネット「レジナ」代表嶽崎(たけざき)裕子さんまで申込み
TEL・FAX 0794-31-8601



宣教型の教会共同体作り 京都司教 バウロ大塚喜直

共同宣教司牧を推進する目的は、小教区が「宣教型の教会共同体」に成ることです。名称は「共同」ですから、司祭同士がチームワークを組んでやるというだけでなく、信徒・修道者も司祭と共に小教区を越えた視点をもって互いに交わることが必要です。その交わりを通して目指しているのは、従来の教会活動全般にみられる司祭主導・信徒依存的意識と、その体制での宣教方法の抜本的な見直しをして、本来教会が果たすべき宣教の使命を果たすため、その地域の福音宣教のニーズに応えようとする信仰改革です。私たち日本の教会の停滞や行き詰まりに関わることで、実は今の私たち信徒の「信仰観」の変革が必要です。宣教しない教会は、厳しくいえば信仰の空洞化、形骸化と表裏一体なのです。信仰とは、信徒とはこういうものだというイメージが、深いところで教会の停滞を招いているのです。

(写真は一昨年の
京都府北部カトリック大会でのミサの
風景です。)

10
1999

よりよき宣教共同体となるために（5）

京都府北部力トリック大会

京都府北部カトリック大会が、六月六日、曉星女子高等学校で開催されました。

午前に、谷口神父より「共同宣教司牧」について七項目のオリエンテーションがありました。

①小教区の成り立ち

②主任司祭と助任司祭

③教会役員

④共同宣教司牧は総ての信者が各自が戴いているタレントに応じた役割を果たし、所属教会内に止どまらず、小教区の壁を取り払い、福音宣教する事が求められる。

⑤司祭はブロック内の全教会について共同の責任を持つ。各ブロックにモデラトルが配置される。

⑥司祭・修道者・信徒の回心が求められる（新しいチャレンジ）。

⑦司祭間・信徒間・司祭と信徒間の関わりが問われ、カトリック協議会の存在意義が益々高くなる。

午後に、以下のようないいなスカッショングがありました。

・ペネラーエ細野乃武夫さん、高橋慎治郎さん、松崎政好さん、安井美佐子さん

- ・コーディネーター＝黒田正さん
- ・コメントーター＝谷口秀夫神父

●共同宣教司牧について思う事（各バネラーからの発言）

○京都北部の信徒は恵まれている、この恵みを感謝して福音宣教に励む事が必要。まず隣の教会との交流から始め、輪を広げる事が大切、子共達の交流による視野の拡大を。

○ものを育てるには声を掛ける事が大切。教会の回心は許し合う事から始まる。ヴァチカン2の教会の改革、NICEの社会に開かれた教会、社会の福音化へと進む事が必要。小教区の垣根を取り払う。

○共同宣教司牧は司祭不足への対応だとと思っていたが、そうでない事が分かった。少子化・信徒減少への対応も必要。

○三教会の活動が身に付いていたので、共同宣教司牧に対して違和感を持っていない。

○小教区主義打破の必要性は分かっていたが、小教区内でも色々と問題があるのでは。

○他教会のニュースや交流も役員止まりで、一般信徒には伝わって

いない。

○小教区の壁を取り払う事によつて生ずると思われる、障害は。

○まず隣の教会との連携を強め、成に努めたい。

○今日の話しや、ディスカッションについて、戸惑いを感じておられる方もあるのでは、ミサや教会行事にあずかるのも、お客様でなく積極的な関わりを。

○司祭・信徒の減少により、小教区単位の事業が出来にくくなっているので、ブロック単位で共同する必要があるのでは。

○バザーの共同開催は出来るだろうか、（バザーの目的が異なる）。

○経済的に弱い教会を支えて行く事は、大切だが、教会経済の統合とは少し意味がちがうのでは。

●会場からの声も交えての発言

○司祭不足解消には、共同宣教司牧以外にも方法があるのでは。

○教会内で子供がうるさいと言う、大人の態度には問題があるのでは、教会には問題があるのでは。

○建物としての教会・共同体としての教会の進むべき方向についての指導が欲しい。

○障害者が普通に受け入れられる教会になつて欲しい。

○個人の信仰と共同体の信仰の一

致へ。

○恵まれた北部の共同体を育て伸びる事が大切で、統合には反対である。この恵まれた情況を当たり前として受け取るのでなく、感謝すべきものとして受け取り、信仰

共同体として前進すべきである。

○今日の結果がどのように生かされるか、今日の参加者の胸の内にしまわれてしまつただけでは何もない。まず各教会での分かち合いから始めて少しずつでも前進して行きたい。近隣教会との交流も行事についてはあるかも知れないが、信仰上の分かちあいまで広げて行きたい。

○話し合いはあっても、討議も反省も、又、実行もなされていない。

○四月から教会共同体として、改める点について分かちあって、信仰共同体として機能する方向を探っている。私の教会でなく、キリストの教会への転換が必要。信徒の養成も大切である。

○一つの肢体の教えにあるように、北部には優れたタレント性を戴いている方は多い。これを結集している方々が、小教区内でも色々と問題があるのでは。

○信仰生活と教会経済は別物とはある。

言えない。信仰の目を以て経済を見る事も大切である。豊かな教会が経済的に弱い教会を支える事は、可能か。

○まず投員の一致から始める事が必要では。教会学校などの共同化や交流を密にする事が必要では。教会会計の統合ではなく、協力関係の強化を。司祭との関わりは。○司祭は、ロック内の各教会の事を良く知っている必要がある。司祭間の協力関係もより密にする必要がある。

○たてまえが本音になるようにすべきである。

○経済問題より先にしなければならない事は、信仰共同体として、互いに信頼を深め、仲良くなる事である。

○生活の中に信仰をという、並列的な考え方でなく、信仰を第一としてそれを生活の中に広げて行く事が大切。

○北部三教会での協力関係は、信仰のキッカケ(手段)として、行事へを捕らえその必要性から、行事への協力関係が生まれてきた。司祭不足への対応は集会司式者の有効活用と信徒の意識改革で可能(三百年間の隠れキリスト教に学ぶ必要)。

○九州のある島では、三百年に渡り司祭不在でも、信仰を守り通した。これは、「祈り」と「聖靈」の恵みによる。信者は内側だけではなく外側にも目を向ける必要がある。昔からのものだけに固執するのでなく、新しい信仰の必要性を発掘しながら進むべきである。教会経済は楽ではないが、殊更に金と言わなくとも、神が必要とされれば、用意して下さる。

○父なる神に祈りを捧げる為に、私達は集められたはずなのに、神様の事が一番後回しにされている(社会的な行事等が優先されている)。○献金は宗教行為であって、人の神への感謝と賛美(祈り)の現れである。

○キリストの言葉を深く味わい障害者等をはじめ小さくされている人々に優しい共同体になるよう心がける必要がある。

○風通しの良い共同体に。

○皆の祈りに支えられて幸せ、これを自分だけに停どめないで、隣人にも。

○会場からの声も多く出て一寸異例のパネルディスカッションだったが、大変良かったと思う。これらを生かす方向に努力して行きたい。

(文責

藤村)

二十一世紀の福音宣教にむかって 京都教区の取り組みの評価(1)

1996年11月23日、日本二十

六聖人殉教四百年祭in京都で、

五ヵ年計画が発表された。司祭修道士の計画によると、今年のテーマは「評価と回心」でした。また、夏の研修会のテーマは、「NICE」や京都教区のとりくみを評価し、次の千年期にどう生かすかを分かち合う」でした。

今年の8月23日~25日、京都教区司祭・修道士研修会が名古屋の研修センターで開かれた。そこで、

京都教区のビジョン作りから、NICE1、教区五十周年、NIC

E2、宣教司牧評議会の京都教区アンケートなどの評価を行った。

研修会で出された評価を、教区時報の記事を参照しながら紹介する。

な提案が出された。

○教区ビジョンを作ろうという動きに先立って、日本宣教司牧センター主催で、「日本の教会のビジョンを共につくる集い」が前年の10月に開かれている。「58号(1996年12月)3頁」。

○7月の司祭評議会で議題として取り上げられ、趣意書作成のための準備委員会を司教が選任するよう答申された。「62号(1997年8月)5頁」。

○「教会のイメージとビジョン」「63号(10月)5頁」

○「教区ビジョン作りへの具体案」「64号(12月)5頁」

○「ビジョン作りへのワシステップ(公会議文書勉強会)」「66号(1998年4月)2頁」

○「特集 京都教区ビジョン作り中間報告」「67号(6月)5~8頁」。ビジョン準備会から各教会に配布された内容で、次の項目を含んでいる。

- 京都教区ビジョン作り
- 「京都教区のビジョンをつくりては?」「60号(1999年4月)10頁」
- 「教区ビジョン作りへの動き」「61号(6月)5頁」
- お願い 田中健一京都教区司教
- 経過

教区ビジョンを作るための具体的

(次の頁につづく)

- 十五年間の刷新の試み 公会議以後刷新の歩み
 - 反省 足りなかつた事
 - これから取り組み
 - 長江司教講演要旨
 - 本誌記載関係記事
- 「京都教区ビジョン（今後あるべき姿）を作るためのたたき台」
〔68号（8月）5～9頁〕。6月8日に各教会で発表されたもので、次の項目を含んでいる。

- 一、ビジョン作りの動機
二、現在までの試みと反省
三、ビジョン作りを進める上でどうしても考慮してほしい事
○「京都教区ビジョン作り ビジョン作り事務局世話係・斎木嘉作」
〔69号（10月）6～7頁〕
○「ビジョン作りの胎動」「号外（11月）1～8頁」。これでわかるゾ！ ビジョン作りというサブタイトルがつけられ、事務局メンバーの紹介と、メンバーそれぞれの説明が掲載されている。
- 「あらゆるもの前にひざまずいて（ビジョン作りから）」「72号（1981年4月）」
○「だんだん見えてきましたよ着々とビジョンへの歩み 第三段階 ビジョン作り合宿（5月2日～4日）」「73号（6月）2頁」
- 「社会とともに歩む教会」
大テーマ「社会とともに歩む教会」
一、社会に対して、教会はどのように関わりを持つとしているのか
二、教会は、自己刷新なしには、充分にその使命を果たすことはできない
三、信徒自身の自己刷新こそ並行

- 「ビジョン作りよいよ大詰め（社会とともに歩む教会）」「74号（8月）1頁、5～8頁」。
教区ビジョン作り六つのテーマ
1. 青少年の育成
2. 教会の魅力と一致
3. 生活の中で祈りと典礼をどう位置づけるか
4. 教会の自己刷新
5. 社会に対して教会はどのような関わりをもとうとしているか
6. 教会組織の近代化
- 「11月23日京都教区創立記念日（教区の一致とビジョン実現に向けて）」「75号（10月）1頁、5～8頁」。特集「教区ビジョン作り六つのテーマ理解のために」
○11月23日の京都教区創立記念日でビジョンの宣言が田中司教によってなされた。「76号（12月）9～20頁」
〔京都教区ビジョン宣言文 社会とともに歩む教会〕
- 京都教区ビジョンの実践
○「社会と共に歩む人物記（1）～（15）」「77号（1982年2月）～92号（1984年8月）」
○「四旬節司教教書 教区ビジョンの具体化を！」自己流でなく、聖霊の導きのもとに

- 平和への歩み学習会
○「京都教区司牧評議会設立準備委員会合宿議事録」「93号（11月4頁）」。9月14日～15日に京都教区宣教司牧評議会設立準備委員会が開かれた。
○「京都宣教司牧評議会発足」「97号（1985年3月）3～4頁」。
宣教司牧評議会第一回総会が1月19日～20日に開催された。その任務は「宣教司牧に関する司教の諮詢に答え、ブロック会議や司祭評議会連絡協議会設立のための合宿報告」
ト報告」「81号（10月）5～7頁、82号（12月）5～7頁、88号（1

- して深める急務
「京都教区ビジョン 本文」
●社会とともに歩む教会（キリストは社会の中に働いておられる）
トは自己刷新と社会との関わりの中心課題
●中心課題の具体化を（具体的な課題
一、教会の自己刷新
二、社会との関わり
三、教会組織の近代化
四、青少年の育成
五、ビジョンの実現に向けて（聖霊の導きのもとに）
六、教区創立五十周年
一、記念誌の発行
二、司教座聖堂、河原町教会に障害者用エレベーター設置についての努力
三、司牧評議会設立に向けて
四、司教座聖堂、河原町教会に障害者用エレベーター設置についての努力
五、ビジョンの具体化としての、
六、ビジョンの具体化としての、
七、司牧評議会設立準備委員会が開かれた。
八、京都宣教司牧評議会発足」「97号（1985年3月）3～4頁」。
宣教司牧評議会第一回総会が1月19日～20日に開催された。その任務は「宣教司牧に関する司教の諮詢に答え、ブロック会議や司祭評議会連絡協議会設立のための合宿報告」
ト報告」「81号（10月）5～7頁、82号（12月）5～7頁、88号（1

主の祈り・イエスの祈り

生熊秀夫

聖書講座シリーズ「御父なる神に向けて」の六月二十三・二十四日の講話のポイントを紹介します。講話のテープは福音センターで貸し出しています。

ます。ぜひ、テープをお聞き下さい。

おぎなうように言っています。あたかも人間のたすけが必要なようになっているのです。ですから、ゲッセマニの祈りも「主の祈り」です。

「天にまします」 マタイ福音書によると天と神は同一で、天は地上的なものに対する神的なものについて語っています。ですから「天にまします」と言う時、一番大事なことは私達の神に対するイメージです。祈りの時、神を誰だと思っているか、どう捉えているかということです。イザヤ43章3を見てください。「私は主」と書いています。それは、創造主で私すべては神によるものであるということがわかります。また、人格神として私達に直接ふれあって下さる神を感じているか、温かい

おきて頭があがらないという意味です。「天にまします」という時、私達はこのようなイメージをもつていません。そうすれば絶対帰依することができると思います。頭の問題ではあります。心の問題でもありません。心の問題でもあります。

腹の底から信じなければならないのです。おきて頭があがらないという意味です。「天にまします」という時、私達はこのようなイメージをもつていません。そうすれば絶対帰依することができると思います。頭の問題ではあります。心の問題でもありません。心の問題でもあります。

「我らの父よ」

アッバ、父よで

祈る時はマタイ18・20にその約束

が書かれていますし、ヨハネ14・23では私達の信仰心、私達の

ごとが書かれていますし、ヨハネ

ですが、アッバはみなさんご存知のとおり幼子の言葉です。これは、私達の方から神に対して本当に愛をよせ、信頼をよせなさい。また、時々は甘えていいですよといふことです。「日曜の糧をお与え下さい」。これも少し甘えが入っています。

ます。甘えたことを全て聞きいられるとは限りませんが、私の思ひではなくあなたの御心のままに

いうことを自分に言い聞かせて下さい。そうすると、神の現存といふ意味が少しずつわかつてくると思います。

それから、祈りにはいろいろな種類の祈りがあります。求めなさいの祈りは、マグダラのマリアの祈りがこれに近いです。搜しなさいの祈りは、ペテロの祈りが近いです。叩きなさいの祈りは、福音史家ヨハネの祈りが近いです。ルカは天の父は求める者に聖靈を与えて下さると言っています。聖靈の働き、それは真理の靈、一致の靈、生命の靈です。そして、祈りの後は回想が大切です。特に神との出会い、恵みと祝福に気づくことが次への祈りを豊かにします。

「主の祈り」は長い歴史の中できれいな形に整えられました。クムラン集団からの背景、イエスの公生活の時代、イエスが復活してからの教会の背景などからできあがったということを頭において下さい。ゲッセマニの祈りを見てみましょう。あれは「天にまします」の祈りです。イエスの最後の祈りは「天にまします」の祈りの内容を何回も弟子達に教え、ご自身も最後に実行されました。これは、イエスの最後の試練だったのです。

自分のメシアズムをどのように表していくか、受難の道を通らないで直接勝利者の道を通るほうが弟子達ももっとついてくると予想されます。しかし、イエスは受難の道を選ぶわけですからこのゲッセマニの園での祈りは最後の試練となつたのです。また、パウロはイエスの苦しみたりないところを

「願わくはみなの尊まれんことを」 これは礼拝と賛美と感謝です。ここでは神に栄光がありますようにといふ意味だと思います。エフェソ1章3～14を読んで下さ

い。これは私達が毎日のミサの中聖ではなく私達の秩序とはまったく違う秩序で神は聖なる方という意味で、絶対帰依の心を持つていましたとともに」です。この言葉にみますかということです。おそれお

皆さんに具体的に祈るために場所や雰囲気を考え、正しい姿勢で祈ること、呼吸を整えること、無心、無我、無念無想の状態を保つて下さい。また祈りの時、神の現存ということを自分に言い聞かせて下さい。その参考として数人で

お
知
ら
せ

福音センターより

電話 075 (822) 7123

FAX 075 (822) 7020

◆養成コース

▼祈り2のコース 11・5日(金)

△祈りの家。一万八千円。祈り1の
コースを体験した方のため。回心
と連帯への旅

◆西院カトリック会館での行事
▼書道教室 每金曜日13時30分。
月会費(4回)三千円

◆典礼委員会

▼教会の祈りと聖体贊美式 3日
(日) 17時30分。河原町教会。16
日(土) 16時30分。衣笠カルメル
修道会

◆信仰教育委員会

▼祈りの集い「テゼの祈りの中で
静かな一時を!」。16日(土) 17
時~17日(日) 16時30分対象=青
年男女。会費四千五百円。カルメ
ル会宇治黙想の家。申込10月9日
までに、宇治教会北村神父まで。

電話 0774 (21) 2891。

▼暮しの中のカウンセリング 第
2、第4月曜日10時~12時30分
▼花道教室 第1、第2、第3火

FAX (24) 4329

三重地区より

◆久居教会主日ミサ変更

10時
バル 17日(日)。11時ミサ、12

時食事、13時~15時アトラクショ
ン。セントヨゼフ女子学園体育館。

テーマ=みんな友達、世界はひと
つ。主催=津教会

◆三重県カトリック研宗館

▼三重CMCC公開講座(クリス
チャン・メンタルフレンド)を志す
人々のために) テーマ=心病む
人々の友となる。主催=三重C
MCC準備会(キリスト教メンタ
ル・ケア・センター)。受講料=

全期(十五回)一万八千円、部分
参加一回二千円。土曜日14時30分
~16時30分。2日「開会礼拝とオ
リエンテーション」、CMCCとは
(心の病と信仰)、講師=熊沢義
宣氏。16日「キリスト教カウンセ
リング」その1、講師=窟寺俊
之氏。来年の6月まで全十五回。

連絡 059 (228) 0407 加
藤幹夫。

▼暮しの中のカウンセリング 第
2、第4月曜日10時~12時30分
▼花道教室 第1、第2、第3火

▼幼児リトミック教室 每水曜日
茶道教室 第2、第4木曜日13

時
ング 每木曜日19時~20時30分

奈良地区より

◆正義と平和奈良協議会講演会
17日(日) 14時~16時。登美ヶ丘

教会。テーマ=新しい出会いを目
指して。講師=中村勉氏(宇治市
青少年センター活動家)

◆バザー

▼富雄教会 17日(日)
▼登美ヶ丘教会 24日(日)

◆浜崎敦師(10月9日下井草教会
で司祭叙階)初ミサ 17日(日)

▼奈良教会 31日(日)

◆登美ヶ丘教会。当教会出身
者 9時。登美ヶ丘教会。当教会出身

◆ボランティア養成上級講座・カ
ウンセリング講座 15日(金) 10
時~11時30分。田辺教会。講師=

廣岡洋子さん(全国カトリック・
ボランティア連絡協議会会長)。

各参加費千円。主催=カトリック

ボランティア奈良連絡会。後援=

カリタス奈良。連絡 0742 (4

7) 1298 西原エツ子

◆シスター・マリア小合悦子(メ

◆オアシス(祈りの集い) 1日
(金) 19時~21時。草津教会

◆ペルーお祭り 17日(日)。草
津教会

京都南部地区より

◆朝祷会 每火曜日7時~8時。
河原町教会。食事及び雑費=三百

円。第4木曜日10時~12時。河原町教
会地下ホール

◆コーエチレステ練習日 第2、
ズ 2日(土) 14時。京都女子
カルメル会修道院。講師=Sr.伊従
信子

◆講演「いつくしみ深い父とテレ
ー」 2日(土) 14時。京都女子
カルメル会修道院。講師=Sr.伊従
信子

◆カナの会結婚相談室開設・例会
3日(日) 13時受付、13時30分~

9時30分~17時(ミサあり)。テー
マ=命の深呼吸。みことばを聴き、
風に吹かれ、豊のある空間で祈っ
てみませんか? 講師=中川博道

師(カルメル会)。対象=青年男
女。会費五百円(昼食費)。聖ド
ミニコ女子修道院。申込締切9月

26日まで。電話 075 (231)
2017 FAX (222) 257

3 安達まで

滋賀地区より

リノール女子修道会の追悼一周年
忌ミサ 7日（木）10時。高野教会。
ミサ後茶話会。連絡 075-
(593) 0275 天田茂

◆信睦二金会 8日（金）10時～
13時。西陣教会。会費五百円。

◆黙想と祈りの集い（テゼ共共同体
と連帶して開かれる超教派の祈り）
▼8日（金）19時。ノートルダム
今海道町修道院。075-701-
6631

▼30日（土）19時。宇治教会。0
774-21-2891

◆聖ヴィンセンシオ・ア・バウロ
会河原町協議会 10日（日）13時
◆京都カトリック混声合唱団練習
日 10日（日）14時、23日（土）
19時。河原町会館6階。
来年3月コンサート開催予定。

団員募集中。連絡 075-492-
4545 中西喜

◆フランシスコ顕彰記念ミサと茶
話会 17日（日）。13時30分。フ
ランシスコの家。在世フランシス
コ会京都兄弟会主催

◆レジオ・マリエコミチウム 17
日（日）13時30分。河原町会館
た聖なる楽の調べ 23日（土）19
時。京都コンサートホール。三千
円（自由席）

◆日本JOC五十周年記念京都大会
OCイグナト テーマ=One for ALL, ALL for One～未来に向けて～。23日（土）～24日（日）。メリノールハウス。対象＝18歳～29歳くらいの働いている青年、または、まもなく働く予定の青年。連絡075（495）9302 鈴木まで。

◆京都キリストン研究会定例研究会 24日（日）14時。河原町会館

◆聖ヴィンセンシオ・ア・パウロ教会京都中央理事会 24日（日）13時30分。

◆子羊会例会 24日（日）。高野教会

◆北白川教会コンサート「金谷良三リサイタル～神に捧げるドイツ歌曲～」24日（日）14時。入場券＝一般一千円、学生・シルバー（七十歳以上）千五百円。収益は福祉施設および海外の被災地に送られます。五月の収益はカリタス・ジャパンを通してコソボに送りました。予約・連絡075（724）6623 北白川教会、075（791）6556 小田恵

◆召命默想会 27日（金）17時（29日（日）15時。宇治カルメル聖テレジア修道院。テーマ＝あなたは、わたしの目に貴い。指導＝中

大阪教区より

その他の

◆ 棟みその会 28日(木) 19時45分。九条教会
◆ 宇治カルメル聖テレジア修道院
黙想会の案内

▼壮年男性のための黙想(ホット
ショウエイ) 23日(土) 17時~24日
(日) 16時。指導者=中川博道師
▼半日の黙想(一般対象) 28日
(木) 10時~16時。指導者=中川
博道師。連絡0774(32)7
016

◆ 大阪教区主催生涯養成コースの
案内 9日(土) 15時30分~11日
(月) 昼食後。テーマ=二十一世
紀のキリスト者の生き方を求めて。
関西学院大学千刈セミナーハウス。
定員六十名。参加費一万六千円。
申込9月30日までに、定員になり
次第締切。連絡06(6946)
3234大阪大司教区生涯養成委
員会事務局

◆英知大学カトリック研究講座
5日、12日、19日(火) 18時~19
時30分。テーマ=芸術の予兆と倫

日本ノーベル賞作家

◆「一万匹の巣運動」基金報告
累計23,030,495円

◆シルバーコース～旧約を読む
8日（金）～12日（火）。指導＝松田清四郎師。三万六千七百五十円

◆和善聖書研究会 21日（木）～
24日（日）。指導＝松田清四郎師。
三万五千五百円

連絡052（831）5037

◆電話番号情報コーナー
▼いのちの電話（相談窓口）

075（864）4343
0742（35）1000
052（971）4343

（8月17日現在）

加入者 865名

日本カトリック研修センター
そ の 他

月2日、9日（火）18時～19時30分。テーマ＝カトリックにおける人格の尊厳と倫理。講師＝岸英司師。一講座（三回）千六百円。会場＝北野教会（大阪市北区豊崎3-12-8）。問合せ06（6491）5000英知大学

大塚司教の

10月のスケジュール

- 3日（日）聖ラザロ（都の聖人、列聖記念と都大殉教52名の列福祈願）ミサ
- 7日（木）司教常任委員会
- 7日（木）正平協事務局会議 16時
- 11日（月）ザビエル来日四百五十周年ミサ（鹿児島）
- 13日（水）ノートルダム女学院中高職員講話 16時
- 14日（木）司教顧問会 10時
- 14日（土）教区カトリック協議会 14時
- 19日（火）～26日（火）教区付司祭默想会
- 22日（金）～24日（日）正平協全国大会（小樽）
- 31日（日）報恩寺教会創立五十周年

◆帰天

▼シスター・マリー・エリス（メリノール女子修道会） 9月1日

◆教区本部事務局より

大聖年の取組みが未定の地区、共同宣教司牧地区、小教区、諸委員会、諸活動、学校、諸施設は、決まり次第、教区本部事務局まで報告して下さい。

16日（次回教区カトリック協議会）までに報告さ

00170の0の30449 東京カトリック神学院 改築募金口

東京カトリック神学院 新築工事のための寄付 のお願い

東京カトリック神学院新築にあたり、聖堂の建設費（約一億二千万円）の一部費用のご寄付をお願いします。

振込先（郵便振替）

00170の0の30449 東京カトリック神学院 改築募金口

れたものは、「京都教区大聖年力レンダー」に掲載されます。

◆ボランティア募集

京都教区時報のレイアウトをボランティアで手伝って下さる方を募集します。条件はパソコンが使え、Eメールを持っていて、毎月第3火曜日の午前10時～12時の編集会議に参加可能な方です。レイアウトは交替です予定です。希望者は編集部のFAXにお願いします。

◆編集後記

お知らせに載せたい情報は、月号でしたら10月4日までに、AX077(527)6800にお願いします。

京都教区では、中学生を対象として、毎年八月四日から七日の日程で広島体験学習を行っています。このイベントは、広島に落とされた原子爆弾を考えことで、戦争について、平和についてみんなで考えようというものです。

中学生が実際に広島へ行き、様々な体験をし、肌で感じたことを感想文として送ってもらいました。これは、その中のひとつです。

ぼくが広島体験学習に行って知ったことは、原爆の恐ろしさです。放射能を受けた人は、かわがたれるぐらいためかわがぱりぱりになるほど熱さだつたと思いました。

そして、放射能を受けるんだつたらそのまま死んだらしいなあと思います。そのまま生きて障害が残ったり、苦しむのが嫌だからそのまま死んだほうがいいと思いました。

もう一つ知ったことは、命の大切さが分かりました。原爆を受けて、そのまま死んだら終わりで、何もできなまま一生涯

広島体験学習に行つて

希望の家 藤岡輝樹

が終わると家族や知り合いの人々が、悲しむからです。その原爆で死んだ人に失礼だから、簡単に自殺とかしないほうがいいと思います。原爆で死んだ人は、みんな死にたくなかったのに殺されて死んだから、すぐに自殺とかせずにまず自分が死んだら、他の人のこととか考えたらいいと思いました。ぼくは、初めてミサをうけて良かつたです。なぜかと言うと、次ミサに来てとか、行こうとか言われたりしたら一回うけているので、次は受けやすいと思うからです。疑問に思ったことは、何か「神の体」です。何でそんなのを食べるのかなあと思いました。言葉では、言い表わせないけれど「神の体」が分かるような気がします。

広島体験学習に行つて良かったです。今まで知らなかつたことを知れたからです。いろいろ友達もできました良かつたです。来年は、サッカーで夏から僕らの時代なので行けるか分からぬけれど、再来年は引退してから行きたいです。本当に広島体験学習に行つて良かつたです。